

株式会社室蘭うずら園

北海道室蘭市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

先駆的に6次産業化に取り組み、ヒット商品「室蘭うずらのプリン」を開発

- 従来その独特の臭みから加工品に不向きとされていたうずらの卵の品質改良に成功、加工品開発の途を開く
- 近隣の農家等との連携により安全・安心かつ高品質なスイーツが全国から好評を博し、収益の柱に成長
- うずら農園による生産・加工・販売の6次産業化事業に取り組み、新たな市場を開拓

企業基本情報

所在地	北海道室蘭市石川町 282-5
電話/FAX	0143-55-6677/0143-55-7306
URL	http://www.uzura.co.jp
代表者	代表取締役 三浦 忠雄
設立	1982年
資本金	5,000万円
従業員数	27人



会社概要

室蘭うずら園は北海道唯一のうずら生産事業者であり、うずらの自家孵化をはじめ、育成・生産・加工・販売までを一貫して行っている。低価格な輸入品との競争が激化する中、うずらの卵の加工品開発に新たな活路を求め、独自開発したスイーツ「うずらのプリン」を全国的なヒット商品に成長させるなど、農林水産業の6次産業化を実現している。



鶏舎外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶「うずらの卵」の品質改善から新たな加工品群を開発し付加価値向上を実現

従来、うずらの卵は鶏卵よりも安価であることから加工品開発のニーズは高かったが、その独特の臭みから、加工品の開発は困難であるとされ、付加価値を付けることは難しかった。

同社はその原因となっていたうずらの飼料の研究に取り組み、臭みの無いうずらの卵の生産に成功、従来の水煮卵に加え、新たな加工品開発の途を開き、安価取引されていたうずらの卵の付加価値の向上を実現している。



うずらスイーツなどの加工品

▶▶▶室蘭地域の地域資源の活用による加工品開発

加工品の開発に当たっては、近隣の農家との提携の下、産出される豊富な果実や野菜、牛乳、甜菜糖を主に活用するとともに、室蘭市内で活用が進められている未利用資源「やんこんぶ」を用いるなど、地域資源にこだわった製品が全国から高い評価をうけ、主力商品の「うずらのプリン」は年間25万個を売り上げるなど好評を博している。

また、宮城県亘理町から震災に伴って避難して来たイチゴ農家を支援するため、これら農家で産出される規格外品を原料とした製品開発も行っている。



菓子工場内

▶▶▶豊富な専門知識と先見性のある経営

代表取締役は元ホクレン農業協同連合会の職員であり、30年以上の長期間にわたり卵関連の業務に携わっていたことから、卵についての専門的知見を有しており、うずらの卵の品質改善や独特の臭みの無いうずらの卵の開発を可能にした他、加工品開発と行った新たな市場獲得においてもその知見は活かされている。また、うずら農園は道内でも当社しか無いことから言えるように、経営が非常に困難な業種であるところ、うずら農園による商品開発・販売を行う6次産業化を実現し、革新的な商品の開発を行って経営を安定させてきたことは、卓越した経営手法の賜物である。



ヒット商品「うずらんアイス」